

# 臼杵市避難所開設 運営マニュアル



# はじめに

「3.11 東日本大震災」、未曾有の大災害は東北地方から関東地方に甚大な被害をもたらしただけでなく、日本中に大規模・広域災害に対する多くの課題と教訓を残しました。三陸海岸と同じリアス式海岸を有する臼杵市も例外ではなく、地震・津波から市民の命を守るために、ソフト・ハード両面にわたる喫緊の対策が求められました。

臼杵市では、南海トラフ巨大地震が今後30年以内に60～70%の確率で発生すると言われていています。これに備え、まずは津波から避難し命を守ることが重要であると考え、避難路の整備や防災倉庫の設置、主食となるアルファ米や水等の備蓄、地域住民と協働で作成した津波避難場所マップの配布および津波避難誘導看板の設置等を行っております。

また、東日本大震災では長期にわたり過酷な避難所生活を余儀なくされ、災害関連死（避難所でお亡くなりになる方）者数が2,700名にのぼったという事実を受け止め、平成24年11月11日に大分県南部地区総合防災訓練において「避難所開設・運営訓練」を実施いたしました。この訓練は全国的にも稀な取組みであり、訓練実施の半年前から避難所運営のキーパーソンとなるスタッフ50名を選出し、計5回にわたり専門家による事前研修を実施しております。海辺地区の住民268名のご協力を頂き実施しましたが、訓練とはいえ想定外のことが多く発生し、スタッフの臨機応変な対応が求められる場面が頻繁に見受けられました。

訓練終了後、海辺地区自治会やスタッフ50名により訓練の検証を行った結果、避難所での58の課題が浮き彫りとなり、この課題を解消するため平成25年度には、訓練で経験したスタッフ50名の意見をもとに「避難所開設・運営マニュアル」の作成に着手し、計11回の協議を重ね、このたび完成いたしました。

今後、各避難所へこのマニュアルを配布し、地域で避難所開設・運営訓練を実施していただくことで、平時から避難所をイメージすることができるとともに、これからの活動を通じて地域コミュニティの輪を築くことにもつながり、さらに災害発生時の共助につながっていくものと考えております。

このたびは、臼杵市「避難所開設・運営マニュアル」の作成にご協力いただいたスタッフ50名ならびに海辺地区住民の268名の方々に感謝を申し上げます。

平成26年4月

臼杵市長 中野 五郎



# 目次

はじめに	1
避難所開設・運営の基本方針	3
①身の安全の確保・避難	8
②避難所開設準備・開設	10
③運営体制づくり	17
総務班	18～19、28
供給班	20～21、29
施設・衛生班	22～23、30
防災班	24～25、31
福祉班	26～27、32
④避難所運営	34
⑤安定期以降の取組	44
72時間過ごすための必要備品リスト	45
そのときどうする！？	46
臼杵市指定避難場所	48
便利帳	50
安全点検チェックリスト	51
避難所開設運営マニュアル編集委員	52
あとがき	53